

団体名	NPO法人大月地域資源活用協議会
所在地	高知県幡多郡大月町西泊438番地
団体の目的	四国の西南端、大月町で地域の宝を探し、その恵みを次世代へ渡すために色々な取り組みを支えています。美しい海で楽しむクリアカヌー、観光ガイド、自伐型林業、へんろ古道活用、お遍路さんの休憩所「よつちみたや」、国際的な芸術文化交流など、お金に換算できない、統計には表れない「豊かさ」も伝えていこうとしています。
活動地域	高知県大月町
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	町全体の78%が森林であるにも関わらず、活用があまり進んでいません。私たちはこの森の活用しながら、大月の森から始まる地域循環共生圏を目指しています。しかし、事業の根っちは生物多様性に配慮することです。大月の自然と共存・保全しながら、森と関わる人がぼちぼち暮らしていける、お金に換算できない「豊かさ」を残していける地域を目指します。
地域の現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 高齢化 ・林業従事者の担い手不足 ・荒廃する森林
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源 ・海洋生物資源
取組内容	森との関わり手創出プロジェクト 木を切る人だけでなく、それを使う人も含めた森と関わる人を増やす取り組みです。
地域循環共生圏を実践することで想定される効果(変化)	<p>(環境) 今まで山に入ったことがなかった人も巻き込んでいくことで、荒廃していた山が管理されるようになり、水源涵養・自然・生活環境の保全につながります。</p> <p>(経済) 林業だけで生計を立てない、複数の生業でぼちぼちの生計を立てる人が増えていきます。</p> <p>(社会) 木を切る人だけではなく、それを活用していく人も巻き込むことでコミュニティの輪を広げます。大月での取り組みが他地域に広がっていくことも期待できます。</p>

